

地域連携 だより

地域連携機関の皆さま方には当院の地域連携に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、患者さんにおかれましても常日頃ご支援をいただき、誠にありがとうございます。地域連携だよりのコーナーでは当院の情報をお知らせいたしますので、今後ともよろしくお願いいたします。

各診療科のご紹介



脳神経外科

部長
きむら
木村 泰

※写真前列中央

脳神経外科：写真前列左から2番目 丸山沙彩医師、前列中央 木村泰医師

当院の脳神経外科では脳血管障害（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、頸動脈狭窄症、脳動静脈奇形など）や頭部外傷、脳腫瘍、中枢神経系感染症など多岐にわたる疾患を扱っています。

脳血管障害は令和2年の死因の第4位に位置付けられており、治療をして死に至らなくとも寝たきりになるような重大な後遺症を残すこともある疾患です。特に脳梗塞は「Time is Brain.」と言われるほど発症からの時間が治療の要となり、発症早期にしか適応にならない治療もあります。当院はPrimary Stroke Centerとして超急性期の治療を行い、脳血管に詰まった血栓を取り除くような追加の治療が必要な場合は水戸医療センターや筑波大学附属病院と密に連携し、患者様に最善と思われる治療を行っています。脳出血やくも膜下出血などの出血性の脳血管疾患に対する開頭手術や原因検索を目的としたカテーテル検査も積極的に行っています。入院後は急性期リハビリテーションを理学療法士や作業療法士らとともに開始し、食事摂取が困難な患者様には摂食嚥下障害看護認定看護師、言語聴覚士や管理栄養士らと共同して早期の経口摂取訓練に力を入れています。その他にも生活面・社会面でのサポートとして、車の運転や仕事復帰などより充実した生活に戻れるよう、患者様を中心に当院のソーシャルワーカーや近隣の病院・施設と連携して長期的なプラン形成を行います。

また、がん診療連携拠点病院として転移性脳腫瘍の症例数が多いのが特徴で、PET検査、遺伝子学的な病理診断、放射線治療科をはじめとして他の診療科と連携した集学的治療も充実しています。茨城県の中でも原発性悪性脳腫瘍の治療ができる数少ない病院でもあります。

上記入院疾患のみならず、外来では認知症専門外来、脳卒中専門外来を行っています。日常生活で悩まされている頭痛や認知症、手足のしびれなどもお気軽に相談ください。